



第8回環境地盤工学シンポジウム プログラム

主 催： 社団法人 地盤工学会
地盤環境プロジェクトにおける環境影響評価技術の高度化と適用に関する研究委員会
地盤環境企画委員会
共 催： 秋田県立大学

地盤工学会では地盤工学と環境問題にかかわる研究に積極的に取り組んできており、特に1994年からは「環境地盤工学シンポジウム」を2年に一度の頻度で開催しております。この度、「第8回環境地盤工学シンポジウム」を下記のとおり開催いたします。一般論文の発表・質疑、ディスカッションセッション、さらには五十嵐敏文先生（北海道大学）をお迎えし、特別講演を行います。環境地盤工学に関心のある研究者、実務技術者におかれましては奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

期 日： 平成21年7月16日（木）、17日（金）

会 場： 秋田市民交流プラザ多目的ホール

（〒010-8506 秋田市東通仲町4番1号 <http://www.alve.jp/>）

シンポジウム参加費：会員6,000円、非会員9,000円、学生3,000円（いずれも論文集を含む）

論文集：当日会場にてお渡しします。

懇親会参加費：一般6,000円、学生3,000円（予定）

申込み方法：

FAXまたはE-mailで、参加者氏名、所属、会員・非会員・学生の別、電話番号、FAX番号、メールアドレス、ならびに懇親会の参加・不参加を明記の上、下記へお申し込み下さい。学会より連絡がない場合には受付したものとご判断下さい。不備等がある場合は折り返しご連絡いたします。参加費は当日会場にて現金でお支払い下さい。

申込み先：（社）地盤工学会 調査・研究部

第8回環境地盤工学シンポジウム係

FAX：03-3946-8678 E-mail：chosaki@jiban.or.jp

宿泊案内：

以下のホテルでは、シンポジウム特別価格で宿泊可能です。ご希望の方はホテルに直接電話にて予約いただき、地盤工学会第8回環境地盤工学シンポジウム参加者である旨をお伝えください。

ホテル	宿泊可能日	価格	アクセス
ホテルメトロポリタン秋田 http://www.metro-akita.jp/ , TEL: 018-831-2222	7/15, 7/16, 7/17	¥7,000（シングル・1泊・朝食なし、朝食は+¥1,000）	会場から徒歩4分
秋田ビューホテル http://www.akitaviewhotel.jp/index.html , TEL: 018-832-1111	7/15, 7/16, 7/17	¥6,500（シングル・1泊・朝食なし、朝食は+¥1,000）	会場から徒歩6分

・6月末までにお申し込みください。十分な部屋数は確保しておりますが、万一不足の場合は先着順となります。

・ツインルームもご利用いただけます。詳細はホテルに直接お問い合わせください。

予定プログラム：

（○：口頭発表予定者、口頭発表予定者以外の所属は省略）

7月16日（木）

9:20 - 11:20

（A会場）【セッション1：地盤中の水分・化学物質の移動とその制御】

座長：遠藤和人（国立環境研究所）

- 1.1 ポワズイユ則と熊本表層地盤の透水性地盤リスク
○福田光治（肥後地質調査）・西浦譲二・西 英典・山崎智寛・川元雄一郎・松迫暁子・北園芳人
- 1.2 室内模型地盤における水分移動のモニタリング
○下辺 悟（日本大学）・土屋順輝・中津川真吾
- 1.3 高サクシオン領域におけるベントナイトの水分量の測定
○西村友良（足利工業大学）・古関潤一
- 1.4 地盤の透水性制御における微生物機能の活用に関する実験的検討
○細尾 誠（長野工業高等専門学校）・畠 俊郎・桑野玲子
- 1.5 ピートモスによる油の保持と生分解
○大坪政美（九州大学）・小西一貴・真玉洋彰・東 孝寛・金山素平
- 1.6 毛管上昇ウェルポイントによる機械油汚染地盤の非掘削浄化技術
○棚橋秀行（大同工業大学）

- 1.7 地盤中の汚染物質の移流分散解析に用いるパラメータの分子シミュレーションによる推定
○立花大地（八戸工業大学）・佐藤雄太・成田秀星・金子賢治・熊谷浩二・田中 昇
- 1.8 表層付近の重金属汚染土壌が地下水水質に及ぼす影響に関する一考察
○保高徹生（国際環境ソリューションズ）・中村公人

(B会場)【セッション2：廃棄物の地盤工学的利用 (1)】

座長：稲積真哉（京都大学）

- 2.1 改良した泥炭の土木材料としての検討
○佐藤厚子（土木研究所）・西本 聡・鈴木輝之
- 2.2 ため池底泥の護岸材料への活用に向けた現場実証実験
○山中 稔（香川大学）・長谷川修一・三村 亨・大谷恭弘
- 2.3 機械脱水処理した浚渫土による盛土の特性とその設計手法の提案
中道正人・矢野米生・右田宏文・山本修司・佐藤哲也・○片桐雅明（日建設計シビル）・大野雅幸・寺師昌明
- 2.4 フライアッシュをベースとしたジオポリマーの開発と有明粘土の固化への利用について
○甲本達也（佐賀大学）
- 2.5 現地発生土との混合による浄水汚泥の有効利用法の提案と混合土の評価
○蛭田俊明（茨城大学）・小峯秀雄・安原一哉・村上 哲・渡邊保貴・ベジェヒョン・豊田和弘
- 2.6 膨張性粒状材を混合した改良土の強度について
友久誠司・鍋島康之・内藤永秀・澤 孝平・○今西啓太（明石工業高等専門学校）・角田敏光
- 2.7 再生石膏を利用した南九州の軟弱地盤改良
○新屋敷和明（コスモコンサルタンツ）・北村良介・後藤両市
- 2.8 廃石膏ボードから得られる半水石膏の地盤改良材への適用性の検討
○伊藤恵輔（福岡大学）・佐藤研一・押方利郎・大山勝久

12:20 - 14:00

(A会場)【セッション3：廃棄物処分場の建設・維持管理 (1)】

座長：小峯秀雄（茨城大学）

- 3.1 高品質粘土の基本的特性の検討
○藤原照幸（NB研究会）・成島誠一・水野正之・稲元裕二
- 3.2 高品質粘土の試験施工と品質管理
○成島誠一（NB研究会）・藤原照幸・水野正之・稲元裕二
- 3.3 徐冷溶融スラグのベントナイト混合土遮水工利用に関する基礎実験
○猪狩富士夫（応用地質）・今泉繁良・柳田 翔
- 3.4 発生場所の異なる砕石場脱水ケーキの遮水材料への適用性の評価に関する研究
○末竹 良（福岡大学）・佐藤研一・森本辰雄・武田 都
- 3.5 基盤の局所沈下を受けるベントナイト混合土層の変形特性と透水性
○今泉繁良（宇都宮大学）・篠崎康人・吉直卓也・工藤賢悟
- 3.6 大ひずみ領域における線状高分子混合固化処理土の遮水性能
小竹 望・○竹内尚人（トヨタ紡織）・乾 徹・勝見 武・嘉門雅史

(B会場)【セッション4：廃棄物の地盤工学的利用 (2)】

座長：ハザリカ・ヘマンタ（秋田県立大学）

- 4.1 クリнкаアッシュの盛土材料としての適用性に関する検討
○若槻好孝（復建調査設計）・兵動正幸・吉本憲正・穴井隆太郎・吉岡一郎・中下明文
- 4.2 生石灰による造粒固化処理を施した建設汚泥改良土の強度評価に関する一考察
○小林 睦（豊田工業高等専門学校）・中村宏彰・戸田操里・落合弘希
- 4.3 粘土から創生したセメント造粒砂の粒度分布測定方法と一次元圧縮特性に関する検討
高橋英紀・○大草陽太郎（横浜国立大学）・早野公敏・森川嘉之
- 4.4 砂分混合した脱水固化処理土の一軸圧縮強度特性
○佐野将輝（九州大学）・善 功企・陳 光斉・笠間清伸
- 4.5 異なる配合で作製された気泡混合処理土の透水特性
○永留 健（東亜建設工業）・御手洗義夫・菊池喜昭・大谷 順・橋本大路
- 4.6 Mechanical Property of Liquefied Stabilized Soil Reused Vinh Phuc-Clay in Hanoi City
○Nguyen Cong Giang（室蘭工業大学）・木幡行宏・大久保達郎
- 4.7 深海底におけるメタンハイドレート堆積層の生産時安定性の評価
○長通謙二（山口大学）・兵動正幸・吉本憲正・中田幸男・米田 純

14:10 - 16:10

(A会場)【セッション5：重金属含有岩石・土壌の対策技術】

座長：龍原 毅（パシフィックコンサルタンツ）

- 5.1 自然由来重金属含有土の処理対策における各種不溶化材の適用性の評価
○重野久美子（ドーコン）・堀内康光・木幡行宏

- 5.2 酸化マグネシウム系材料による重金属等汚染土壌の不溶化処理事例と長期安定性
○大山 将 (鴻池組)
- 5.3 芝による重金属汚染土壌無害化対策の基礎的研究ー現場試験ー
○富山恵介 (長岡工業高等専門学校)・岩波 基・高橋 京
- 5.4 微生物の代謝を利用した重金属汚染土の浄化効果
○田村和也 (九州大学)・大嶺 聖・安福規之
- 5.5 掘削土砂から発生する酸性水が粘土ライナーの遮水性能に及ぼす影響
最上裕生・○出島 茜 (京都大学)・勝見 武・乾 徹・嘉門雅史
- 5.6 地下鉄建設工事における重金属を含む海成泥岩の対策について
森研一郎・○門間聖子 (応用地質)・佐々木正春・堀 修・野溝昌宏
- 5.7 酸性化した溶出水による岩石ずりの重金属類溶出量評価に関する考察
○本田修一 (土木研究所)・岡崎健治・阿南修司・伊東佳彦
- 5.8 掘削ずりに含まれる黄鉄鉱酸化の定量的評価の試み
○三好 悟 (大林組)・三浦俊彦・甚野智子・久保 博

(B会場)【セッション6：緑化・バイオマス利用】

座長：佐藤研一 (福岡大学)

- 6.1 浄水汚泥を改良したイチゴ培土の適用性に関する研究
○田辺和康 (福山大学)・富田武満・山田幹雄・佐野博昭
- 6.2 浄水場発生土を有効利用した法面緑化工法の開発
小林啓二・中村隆浩・関口高志・○柴田 靖 (戸田建設)・松山康二・小柳津倫生・工藤 稔
- 6.3 降雨遮断と蒸散作用に着目した樹木の斜面崩壊抑止効果に関する基礎的研究
○今井 久 (ハザマ)・中島 聡・池田 穰
- 6.4 薬用植物「カンゾウ」栽培時の土質・水分条件が成長に及ぼす影響について
○古川全太郎 (九州大学)・安福規之・大嶺 聖・小林泰三
- 6.5 乾燥地緑化に向けた土中水分調整技術に関する基礎的取り組み
○河野皓治 (九州大学)・安福規之・石川裕司・大嶺 聖・小林泰三
- 6.6 竹炭材の地盤工学的有効利用に関する基礎的検討
○荒牧憲隆 (崇城大学)
- 6.7 ローム土の改良材としてのホタテ貝殻の有効利用
菊地優毅・○苫米地学 (八戸工業大学)・佐藤雄太・立花大地・金子賢治・熊谷浩二
- 6.8 有機系廃棄物の分解に伴うコンポスト型微生物電池の開発
○鐘ヶ江隆行 (九州大学)・大嶺 聖・安福規之・小林泰三

16:30 - 17:30 【特別講演】

岩盤掘削ずりからの重金属類の溶出特性に基づく対策法の構築に向けて

司会：勝見 武 (京都大学)

五十嵐敏文 (北海道大学)

17:30 - 18:30 【ディスカッションセッション：廃棄物処分の地盤工学的課題】

コーディネーター：佐藤研一 (福岡大学)

パネリスト： 秋田県生活環境部担当者・遠藤和人 (国立環境研究所)・大嶺 聖 (九州大学)・水野克己 (大幸工業)

19:00 - 20:30 【懇親会】 会場：ホテルメトロポリタン秋田

7月17日 (金)

9:30 - 11:30

(A会場)【セッション7：溶出特性・環境影響評価】

座長：浅田素之 (清水建設)

- 7.1 佐鳴湖底質における重金属含有量の遷移
○原田 透 (東海大学)・山名真広・福江正治・佐藤義夫・加藤義久・古河幸雄
- 7.2 白神山地の水と土ー化学的環境評価ー
○山口晴幸 (防衛大学校)
- 7.3 凝集剤成分の溶出に着目した浄水汚泥の劣化現象と簡易的時系列評価
○渡邊保貴 (茨城大学)・小峯秀雄・安原一哉・村上 哲・豊田和弘
- 7.4 多様な土を用いたセメント改良土からの六価クロム溶出に関する基礎的調査
○間宮 尚 (鹿島建設)・小澤一喜・乾 徹・小林直広
- 7.5 上向流カラム通水試験による溶出挙動評価法の標準化に関する研究ー都市ごみ焼却灰を用いた室内精度の評価と溶出挙動解析ー
○肴倉宏史 (国立環境研究所)・井野場誠治・大迫政浩

- 7.6 土壌動物（トビムシ）を用いた固体廃棄物の環境影響評価手法の検討
○阿部 誠（秋田県立大学）・山田正人
- 7.7 リサイクルタイヤチップの水生生物におよぼす影響
中川理緒・加藤三和・○鎌迫典久（国立環境研究所）・有菌幸司・安原一哉

(B会場)【セッション8：廃棄物の地盤工学的利用（3）】

座長：乾 徹（京都大学）

- 8.1 ゴミ溶融スラグと岩ブリの混合による新たな地盤および路盤材料について
対馬雅己・三田地利之・及川 洋・荻野俊寛・○花田智秋（秋田工業高等専門学校）・佐藤 均
- 8.2 エコスラグの地盤改良材への利用について
坪井晴人・西川 進・○勝井秀博（大成建設）・菊池喜昭・福手 勤
- 8.3 港湾工事における高炉水砕スラグの硬化促進工法
○菊池喜昭（港湾空港技術研究所）・内山明日香・佐藤宇紘・規矩大義・西村大司
- 8.4 産業副産物としらすを利用した環境低負荷型地盤材料の開発
○山本健太郎（鹿児島大学）・平 瑞樹
- 8.5 発生土及びおが粉を用いたウォーキング歩道と屋外歩行リハビリ訓練施設の舗装作製と評価
○鬼塚信弘（木更津工業高等専門学校）・刀根航平・金井太一・在原 惇
- 8.6 廃棄発泡プラスチック破砕片混合土の透水性および断熱性に関する考察—カオリン粘土を用いた混合土の透水性と断熱性について—
○木全 卓（大阪府立大学）・西田真理
- 8.7 産業廃棄物の流動化処理土への再利用に関する一考察
○福田政志（国土舘大学）・柴田英明・田中正智
- 8.8 建設発生土を用いた流動化処理土の再利用に関する研究
藤川拓朗・佐藤研一・○大住隼斗（福岡大学）

12:30 - 14:10

(A会場)【セッション9：廃棄物処分場の建設・維持管理（2）】

座長：小澤一喜（鹿島建設）

- 9.1 原位置一面せん断試験等による一般廃棄物の力学特性
藤村 尚・○岩下信一（応用地質）・安達和徳
- 9.2 不燃性廃棄物と焼却灰および一般土質材料を組み合わせた複合地盤におけるクリープ特性に関する実験的研究
○久保陽太郎（不動産テトラ）・江副 哲・東畑郁生
- 9.3 廃棄物の海面投棄を想定した試料群の静水中における一次元沈降挙動と底部粘土層への影響
○鍋島勇太（福岡大学）・永岡修一・佐藤研一・山田正太郎・八村智明・宮原哲也・武馬雅志・鈴木裕之
- 9.4 薄層埋立工法における廃棄物の投入方法に関する実験的検討
○永岡修一（University of Dundee）・鍋島勇太・山田正太郎・佐藤研一・八村智明・宮原哲也・武馬雅志・鈴木裕之
- 9.5 埋立が終了した廃棄物最終処分場の安定化へのガス抜き管設置による効果に関する研究
○吉田英樹（室蘭工業大学）
- 9.6 穿孔前後の埋立地ガスフラックス計測による覆土層の透気係数の推定
○石森洋行（国立環境研究所）・遠藤和人・山田正人

(B会場)【セッション10：地球環境問題への地盤工学の貢献】

座長：樋口雄一（大成建設）

- 10.1 CO₂グリッドを応用した簡易気象観測システムの実現と地盤防災への適用性
○齋藤 修（茨城大学）・宮部紀之・桑原祐史・安原一哉
- 10.2 地下水位の上昇履歴を受けた砂地盤基礎構造物の地震時変状と対策
○西脇一樹（茨城大学）・安原一哉・小峯秀雄・村上 哲
- 10.3 海面上昇を考慮した地盤沈下地帯における浸水危険度評価
○武井洋大（茨城大学）・鈴木久美子・安原一哉・村上 哲・小峯秀雄
- 10.4 南太平洋島嶼国を対象とした沿岸域防護のためのゾーニング図作成方法の高度化
○桑原祐史（茨城大学）・江田雄樹・横木裕宗・小柳武和・三村信男
- 10.5 基礎杭の再使用による環境負荷低減効果の評価
○乾 徹（京都大学）・宮崎 匠・勝見 武・嘉門雅史
- 10.6 丸太打設地盤改良による地球温暖化防止対策の可能性
○沼田淳紀（飛島建設）・外崎真理雄・濱田政則・久保 光・吉田雅穂・野村 崇・本山 寛
- 10.7 バンコクの都市廃棄物処理に関する環境影響評価
○稲積真哉（京都大学）・大津宏康・勝見 武・塩谷智基・石川憲俊

14:20 - 16:20

(A 会場) 【セッション 11: 廃棄物処分場の建設・維持管理 (3)】

座長: 吉本憲正 (山口大)

- 11.1 Adsorption Characteristics of Heavy Metals on Landfill Liner Clay, and the Effects of Changing pH
○佐々木清一 (和歌山工業高等専門学校)・Rod Lynch・横田善弘・井上和徳
- 11.2 八戸ロームへの鉛吸着特性と濃度依存型遅延係数を考慮した移流分散解析
○清原雄康 (八戸工業高等専門学校)・工藤友樹
- 11.3 分子拡散による漏出量の視点からみた遮水工構造基準の妥当性評価
日置和昭・岩永駿平・○中村聡司 (昭和エンジニアリング)・本郷隆夫
- 11.4 破損ジオメンブレン直下における地盤内漏水現象の可視化
○椋木俊文 (熊本大学)・重徳茉理奈・永田孝輔・松本英敏・大谷 順
- 11.5 埋立廃棄物のバイオガス発生ポテンシャル予測に関する基礎的検討
○小林直広 (京都大学)・間宮 尚・小澤一喜・乾 徹・勝見 武・嘉門雅史
- 11.6 放射性廃棄物処分における環境地盤工学的課題と展望
○小峯秀雄 (茨城大学)

(B 会場) 【セッション 12: 廃棄物の地盤工学的利用 (4)】

座長: 大嶺 聖 (九州大学)

- 12.1 廃タイヤリサイクル材の強度特性に粒径寸法の違いが及ぼす影響
○五十嵐信貴 (秋田県立大学)・Hemanta Hazarika
- 12.2 異方圧密三軸圧縮試験によるタイヤチップ混合浚渫粘土の強度特性
○早野公敏 (横浜国立大学)・御手洗義夫・田中洋輔・志村勝宣
- 12.3 ゴムチップと繊維を用いた複合地盤材料の力学特性と遮水性について
○島村 淳 (ケミカルグラウト)・酒本純一・宮本裕司・齋藤邦夫
- 12.4 三軸圧縮過程におけるゴム球集合体およびタイヤチップ混合土の変形特性の観察
菊池喜昭・○日高健寿 (港湾空港技術研究所)・佐藤宇紘・阿曾美之・Hemanta Hazarika
- 12.5 擁壁裏込めに緩衝材として用いた廃タイヤの土圧低減効果
○金田一広 (竹中工務店)・Hemanta Hazarika・山崎浩之
- 12.6 Difficulties Associated with Tire Chips in Seismic Buffer Applications
○Hemanta Hazarika (秋田県立大学)
- 12.7 裏込めにタイヤチップス混合砂を適用した構造物の地震時変状低減のメカニズム
○安原一哉 (茨城大学)・小峯秀雄・村上 哲・藤原康成・木立恭史・御代田早紀・Hemanta Hazarika・兵動正幸
- 12.8 タイヤチップ混合砂の動的変形特性と地震応答特性
○金子 崇 (山口大学)・兵動正幸・河田慎治朗・吉本憲正・中田幸男・Hemanta Hazarika

16:30 - 17:00 【クロージングセッション】

17:00 - 17:10 【閉会挨拶】

小峯秀雄 (茨城大学)